

## SD (Staff Development) 関連事業

### <事業概要>

大学を取り巻く環境が急激に変化している状況において、大学の管理運営のあり方が重要な位置を占めるようになり、大学職員の担う役割は非常に大きくなっています。また、2017年4月1日にSDが義務化されたことにより、大学職員の能力開発・向上は必須となりました。そのような環境に適応すべく、大学職員を対象とした管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための様々な事業を展開しています。

### <主な活動項目>

- ◆大学職員共同研修プログラム ➡ SD共同研修プログラム (2019年度名称変更)
- ◆SDフォーラム

※DI (Diffusion Index)値とは

「良い／悪い」「上昇／下落」といった定性的な指標を数値化して、単一の値に集約する加工統計手法のこと。または、この方法によって得られた指数をいう。DIは、時系列データであれば値の増加(プラス)／減少(マイナス)、サーベイデータ(アンケートなど)であれば回答を良い／悪いなどの属性に分類し、その属性の個数を集計して全系列数に占める割合などから算出する。

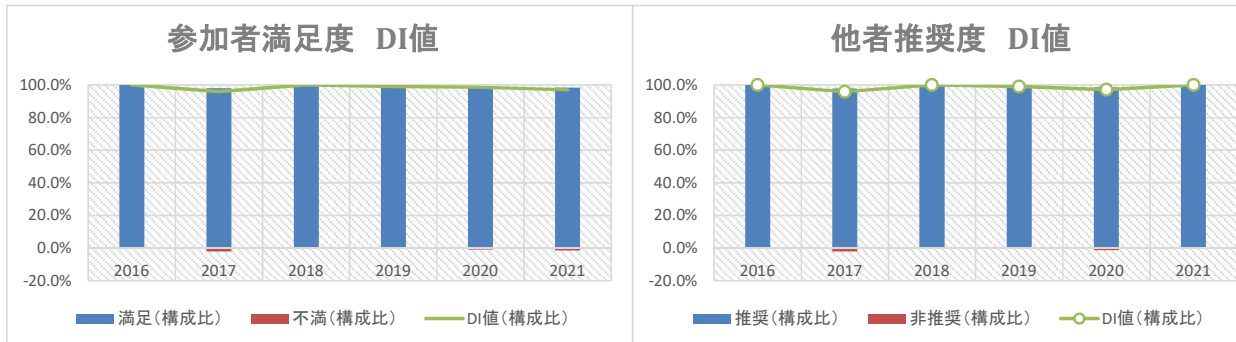
<http://www.itmedia.co.jp/im/articles/0707/09/news108.html>

- ◆大学職員共同研修プログラム ➡ SD共同研修プログラム (2019年度名称変更)
- ◆SDフォーラム

### ◆SD共同研修プログラム

#### <事業概要>

社会人としての基礎知識から大学職員としての汎用的なスキルを修得できる場として提供し、職務遂行能力向上に寄与します。また、能力・スキル向上型研修に加えて、「基礎知識獲得型」研修を実施し、研修の幅を広げ、より多様な受講者に対応できるよう企画しています。



#### 参加者満足度

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
満足(名)	109	95	134	200	134	131
不満(名)	0	2	0	1	1	2
満足(構成比)	100.0%	97.9%	100.0%	99.5%	99.3%	98.5%
不満(構成比)	0.0%	-2.1%	0.0%	-0.5%	-0.7%	-1.5%
DI値(構成比)	100.0%	95.9%	100.0%	99.0%	98.5%	97.0%
参加者数(名)	114	98	150	210	192	152

#### 他者推奨度

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
推奨(名)	106	94	132	199	136	120
非推奨(名)	0	2	0	1	2	0
推奨(構成比)	100.0%	97.9%	100.0%	99.5%	98.6%	100.0%
非推奨(構成比)	0.0%	-2.1%	0.0%	-0.5%	-1.4%	0.0%
DI値(構成比)	100.0%	95.8%	100.0%	99.0%	97.1%	100.0%
参加者数(名)	114	98	150	210	192	152

### <参加者の声>

- 社会人として当然である敬語やビジネスマナーだが、自分自身十分に身につけているのか、間違っていて覚えていないかなどの不安があった。この研修を通して、始めて学ぶ事や正しい知識を見つめ直すことができたため。
- データに関する考え方や組織のあり方など気づきがありました。現在の組織の問題点を再認識しました。Excel操作のテクニクは周囲にも広めたいと思います。
- 職場内だけでは情報に限界があり業務に行き詰っていました。この研修を受けて何を基準に物事を判断していけばいいのか。あらためて教えていただきこのような研修に参加する第1歩となりました。今後も機会があればどんどん研修に参加したいと思います。
- 自分から動かなかったことも反省しているが、オンラインだと交流の場としての役割は薄かったように感じられた。休憩時間に参加者と話すというようなこともできなかった。
- 画面共有は、資料が画面に最適化されていないと小さくて少し見づらさを感じました。また、時間の制約があり説明が駆け足になっていた点はもっとじっくりお聞きしたかったです。

### <参加者の声を受けて改善を図った点>

- 過年度に計画された研修プログラムのメニューに加え、引き続き、加盟校の多様なニーズに対応すべく、研修プログラムを検討し、実施の可能性を探る。
- 能力・スキル向上型研修に加えて、「基礎知識獲得型」研修の充実を図り、多様で幅広い層の受講者に対応できるような企画を展開する。
- 2020年度に続いて2021年度も新型コロナウイルス感染状況に鑑み、ほぼすべてがオンラインによる開催となった。一部、対面開催で効果が期待されるものは、感染状況が比較的安定した時期に対面で開催した。また、昨年はオンライン開催の集中力持続を考慮し、短時間開催を心掛けていたが、参加者がオンライン研修に慣れてきたことを踏まえて、一部時間を長くとしての研修も開催した。

### 【総括】

参加者数については、2021年度全体で152名であった。定員充足率は、一昨年対面時の86.1%から昨年78.4%と下回ったが、今年度は60.4%とさらに下がった。定員が充足しなかった要因は、対面開催の方がより高い効果が見込める企画もオンラインでの実施を余儀なくされたことや、オンラインでの研修が増え、参加者の選択肢が全国に広がったこと、また、オンライン開催で物理的な制約が無くなり、募集定員を増やしたことなどが考えられる。一方、個別のプログラムでは、「教務が分かると大学事務が見えてくる！「教務と関係法令」」、「これからの大学職員“IRer”（基礎）」の2研修に限定すると、定員充足率は118%となり、前年度に引き続いて大学職員に求められる実学的な基礎知識習得にかかる研修はニーズが高かったと考えられる。

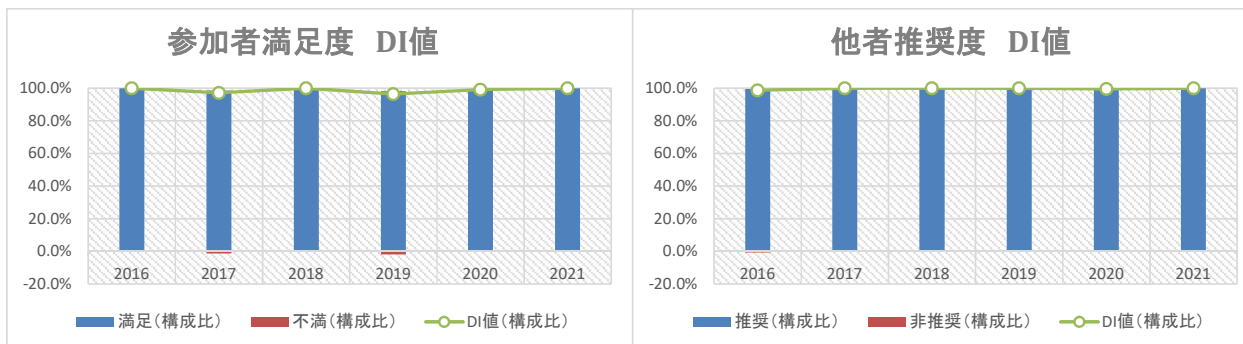
研修内容については、参加者アンケートによると、「満足」と「ほぼ満足」が96%と、昨年の92%を上回っている。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、「定時で終えるために今からできるタイムマネジメント」以外の研修については、Zoomミーティングを使用したオンラインでの開催となったが、昨年度からの経験を生かして、大きなトラブルなく実施することができた。また、昨年度に比べ、参加者もスムーズに研修へ参加しており、オンライン慣れが進んでいることも、より研修効果が高まった要因と考えられる。

今後も引き続き、SD研修委員会において、これらアンケート結果などを参考にし、大学を取り巻く環境の変化に応じた研修内容や講師の招聘を検討する。

## ◆SDフォーラム

### <事業概要>

高等教育の動向を踏まえての先進事例紹介の場、また、外部有識者の知識やノウハウを獲得する場として提供し、新たな知見修得に寄与します。各加盟校や他組織における類似企画との差別化を図るために、プログラム（分科会数、規模等）や運営面でも魅力的なものとなるよう、アンケート結果等からニーズを分析し、SD研修委員会においてプログラムの充実を図ります。



### <参加者の声>

- 規模の違いはあるものの、先進的事例について学ぶことができた。
- 公募制、人事評価への反映等、改革を推進する前に大切なことだと気付かされた。
- DXについて、自信の理解度を確認し深めることが出来たから。
- 難しいかもしれないが分科会2資料も事前予習して望められるよう事前配布をしていただきたかった。人事系でない職員にはその場で理解するのが難しかった。
- 分科会は両方とも興味があったので、ライブでなくても参加できるようにしてほしい。
- オンラインという場だと講師からの一方向の講演になりがちで、集中はできますが情報交流の場という意味だと質疑応答の時間を増やしてほしいと思います。

### <参加者の声を受けて改善を図った点>

- 大学を取り巻く環境の変化に対応すべく、年に1回、時流に合ったテーマでSDフォーラムを開催する。
- FD事業とSD事業の連携を視野に入れながら、教職協働を意識したプログラムを検討する。
- 2021年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オンラインでの開催となったが、概ね好評価の意見が寄せられ、次年度以降もオンライン開催を継続する。

### 【総括】

2021年度のSDフォーラムも、2020年度から引き続きコロナ禍の影響により、オンラインにて開催した。2020年度に中止した分科会については、2021年度は2つの分科会を開催した。  
アンケートによると、参加者からは、基調講演、分科会ともに好評な感想が多く寄せられた。  
また、オンライン開催についても、昨年度同様、高評価な意見が寄せられた。  
参加者数については108名と、昨年度の533名を大きく下回った。  
2022年度のテーマについては、SD研修委員会で議論を重ね、引き続き、時流に合った関心の高いテーマでのプログラムを提供していく。また、オンライン開催は継続するが、講師および参加者間のネットワーク形成の場として、オンラインでの情報交換会の開催を検討するなど、より充実したフォーラムとなるよう努める。

### 参加者満足度

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
満足(名)	161	71	108	110	455	74
不満(名)	0	1	0	2	2	0
満足(構成比)	100.0%	98.6%	100.0%	98.2%	99.6%	100.0%
不満(構成比)	0.0%	-1.4%	0.0%	-1.8%	-0.4%	0.0%
DI値(構成比)	100.0%	97.2%	100.0%	96.4%	99.1%	100.0%
参加者数(名)	205	154	159	131	533	108

### 他者推奨度

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
推奨(名)	159	86	104	105	442	78
非推奨(名)	1	0	0	0	1	0
推奨(構成比)	99.4%	100.0%	100.0%	100.0%	99.8%	100.0%
非推奨(構成比)	-0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	-0.2%	0.0%
DI値(構成比)	98.8%	100.0%	100.0%	100.0%	99.5%	100.0%
参加者数(名)	205	154	159	131	533	108